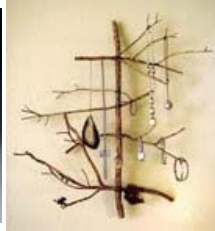


デジタルカメラで撮影した写真から 3D オブジェクトを生成します。

基本的に複数のスナップショット写真（解像度 500 万画素以上を推奨します。）

ドローン等で撮影した動画からも若干精度が落ちますが 3D オブジェクトを生成可能です。

主に以下に該当するオブジェクトや写真から 3D オブジェクトを生成する事は出来ません。



鏡、クロームメッキ

反射（スペキュラ）の強い光源下で  
撮影した写真

毛羽立った物、(ファー類)

透過するオブジェクト

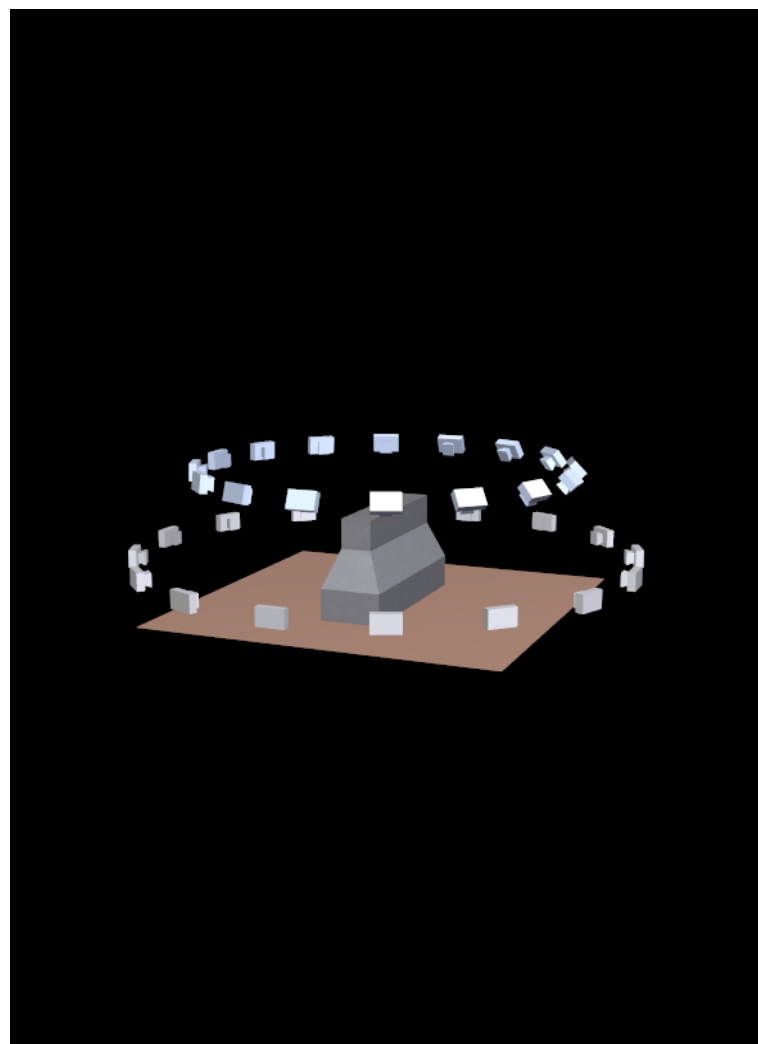
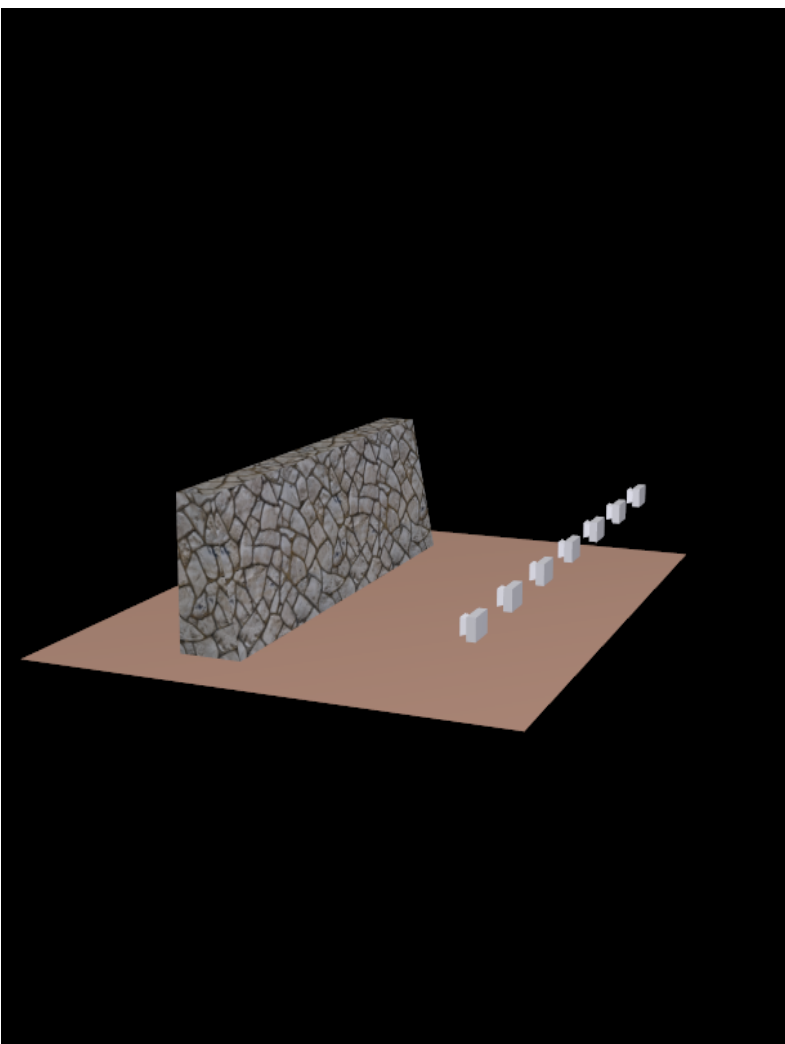
細く、揺れるオブジェクト

模様のないプラスチック  
(表面に変化が無い)

白飛び、もしくは暗部が潰れている写真

被写体を撮影する場合、以下のルールを守ってください。

ドローン等で撮影する場合も同じです。



平面の撮影する場合は、1 視点からではなく かならず、各写真が 60% 以上  
オーバーラップするように複数の視点から撮影してください。

オブジェクトを撮影する場合、特定の角度だけでかならず、各写真が 60%  
以上オーバーラップするように複数の視点から撮影してください。

## 航空写真の撮影の仕方



尚、上記の撮影では真上から撮影していますので、護岸 法面のマッピングディティールが若干落ちますのでオブジェクト撮影の要領で斜めから撮影したもの追加すればよりベターです。写真に写っていない部分はきれいに反映されないという事です。